

株式会社 丸井グループ

2026年3月期 第3四半期決算概要



2026年2月10日

26年3月期 第3四半期 決算概要および各事業の状況

- ・連結
- ・小売
- ・フィンテック
 - ・「好き」を応援するビジネス
- ・バランスシート/資本配分
- ・ESG
- ・通期見通し

26年3月期 第3四半期 決算概要および各事業の状況

- ・連結
- ・小売
- ・フィンテック
 - ・「好き」を応援するビジネス
 - ・バランスシート/資本配分
 - ・ESG
 - ・通期見通し

① 総取扱高は9%増の4兆204億円（前年差+3,480億円）

引き続き過去最高を更新

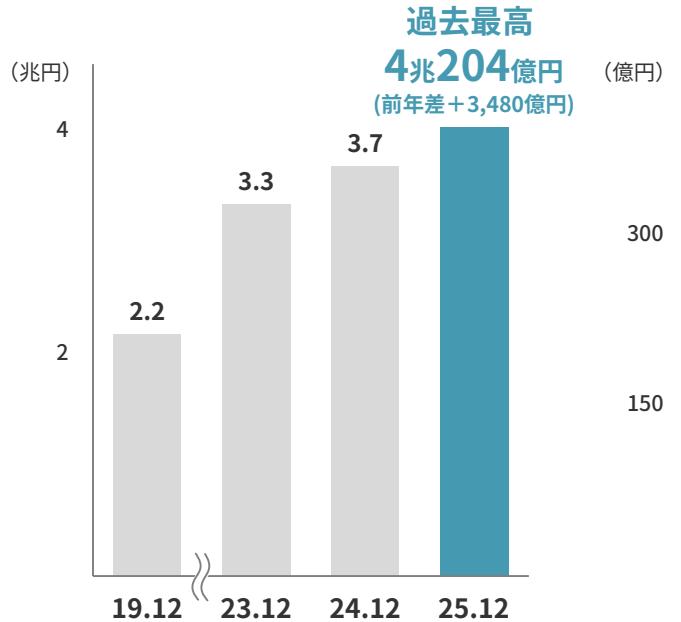
② 営業利益は20%増の398億円（前年差+65億円）

第3四半期累計として過去最高益

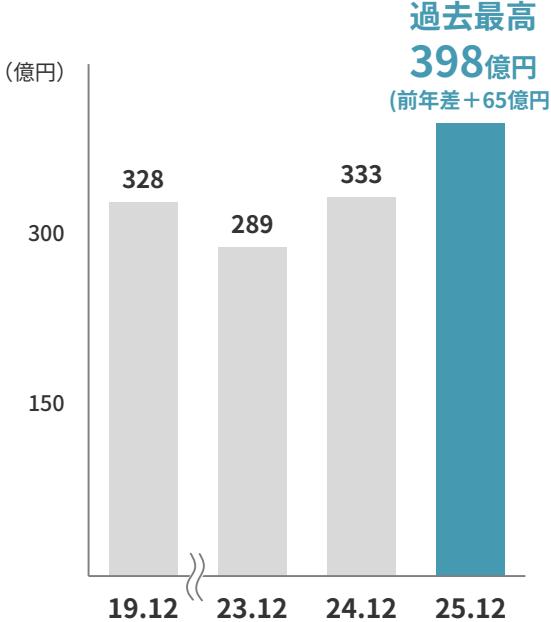
- 小売は26億円増益の84億円、コロナ前水準を上回る
- フィンテックは40億円増益の375億円

③ 経常利益は14%増の346億円（前年差+42億円）、金融費用が増加するも順調に増益幅を拡大

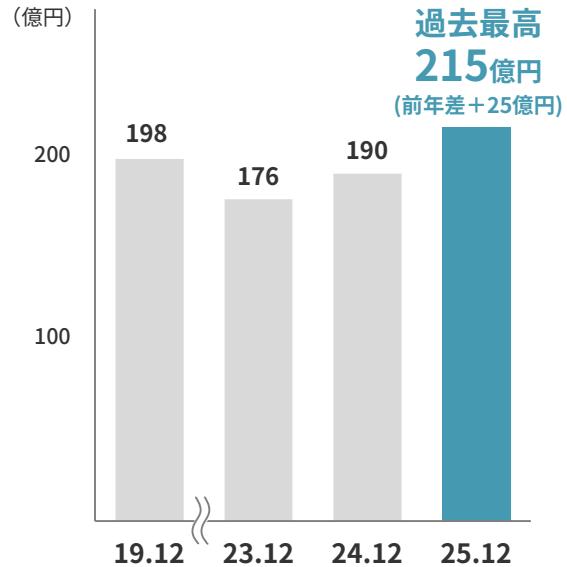
■ グループ総取扱高



■ 営業利益



■ 当期利益



*企業会計基準第29号(収益認識に関する会計基準)等適用後の数値を記載

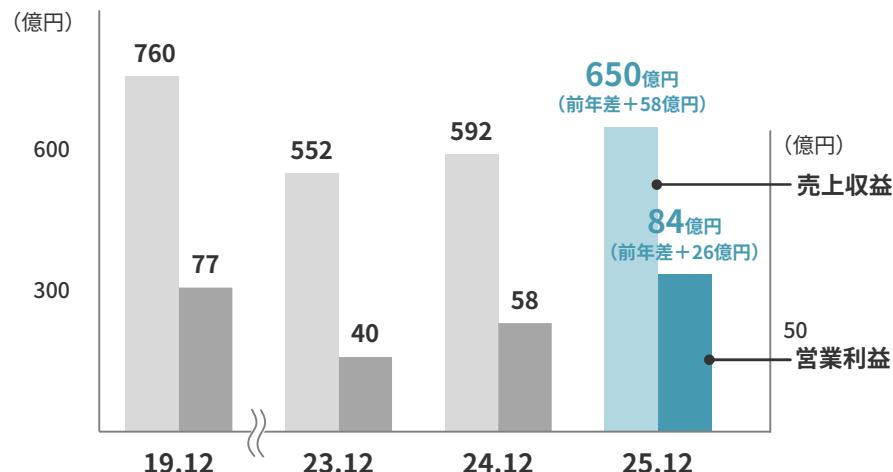
営業外損益 / 特別損益の状況



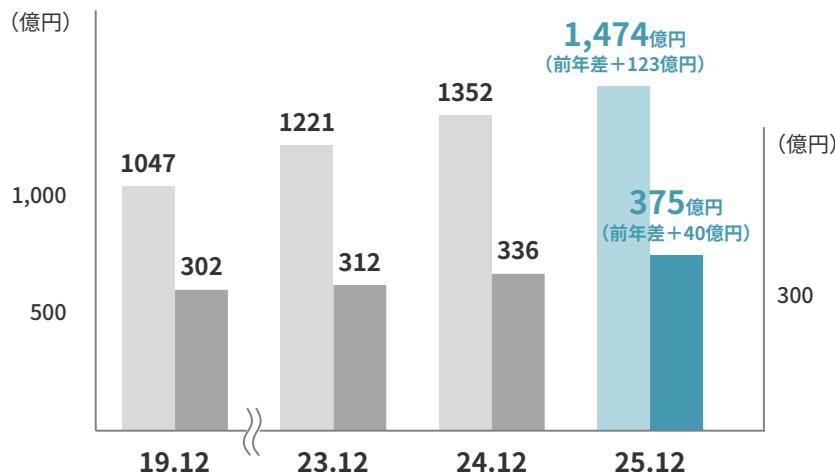
	25年3月期 1~3Q	26年3月期 1~3Q	前年比	前年差	前年差要因
	億円	億円	%	億円	
営業利益	333	398	120	+ 65	小売 +26 フィンテック +40
営業外収益	8	7	86	△1	
営業外費用	37	59	159	+ 22	金融費用 +22 <金利+19 残高+3>
経常利益	304	346	114	+ 42	
特別利益	17	24	142	+ 7	保有株売却 +12 不動産売却 △6
特別損失	37	39	107	+ 3	株式減損 +10 店舗閉鎖他 △7
税引前利益	284	331	116	+ 47	
当期利益	190	215	113	+ 25	

セグメント別の状況（売上収益・営業利益）

■ 小売

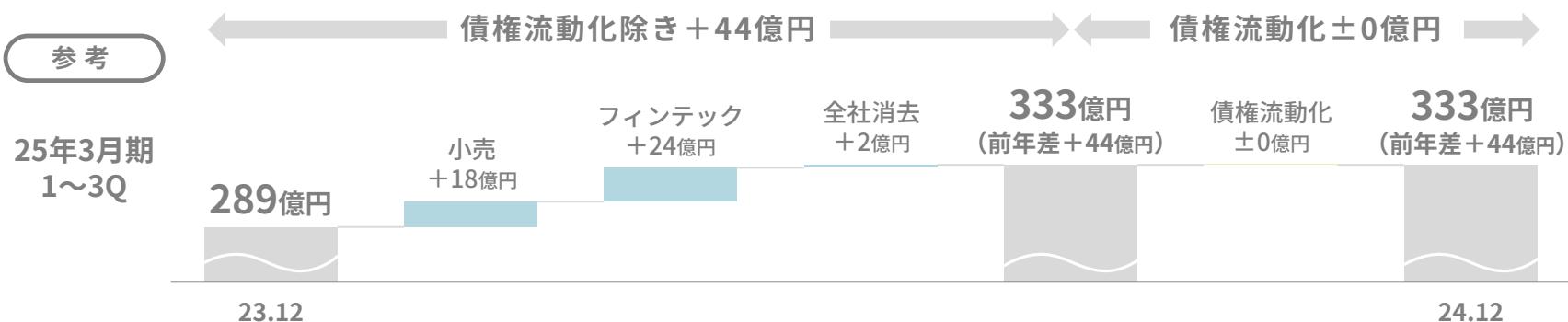
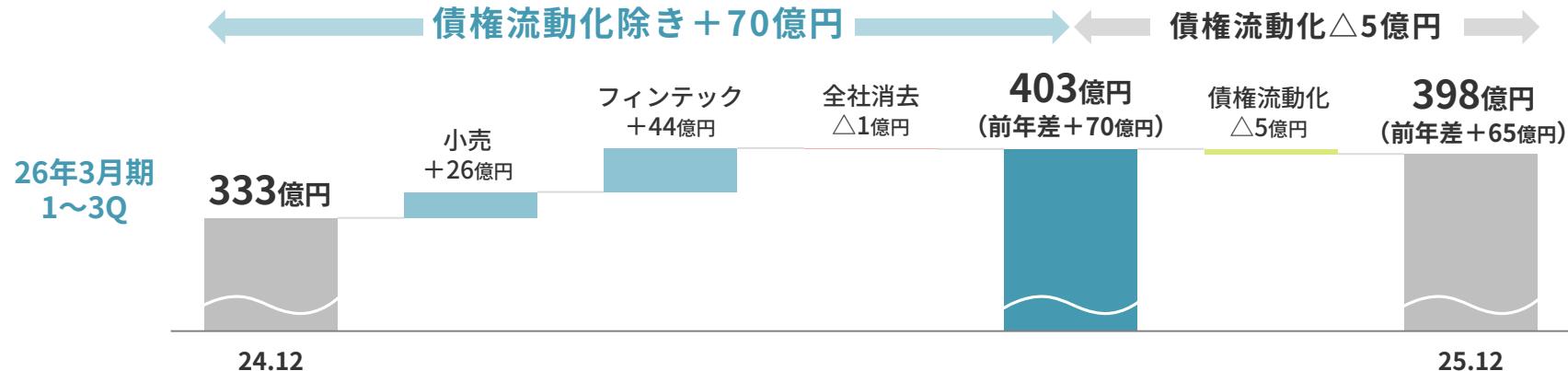


■ フィンテック



*企業会計基準第29号(収益認識に関する会計基準)等適用後の数値を記載

営業利益増減の内訳

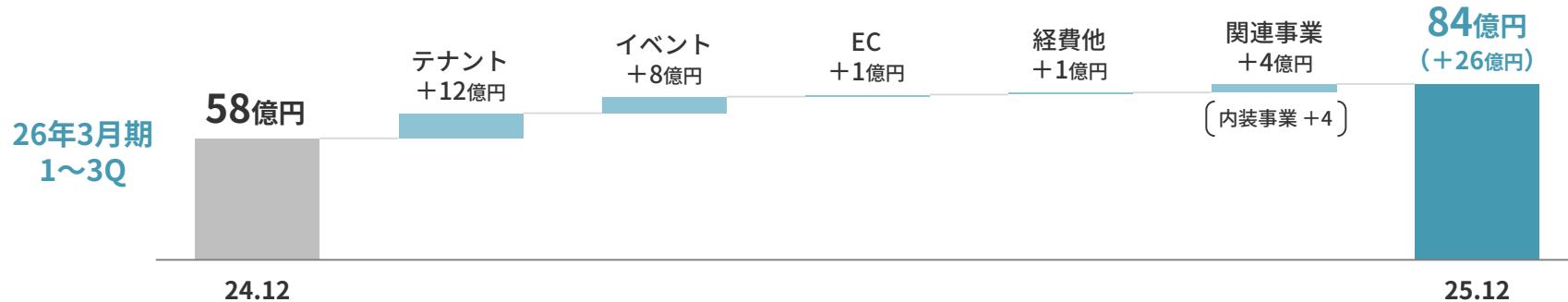


26年3月期 第3四半期 決算概要および各事業の状況

- ・連結
- ・小売
- ・フィンテック
 - ・「好き」を応援するビジネス
 - ・バランスシート/資本配分
- ・ESG
- ・通期見通し

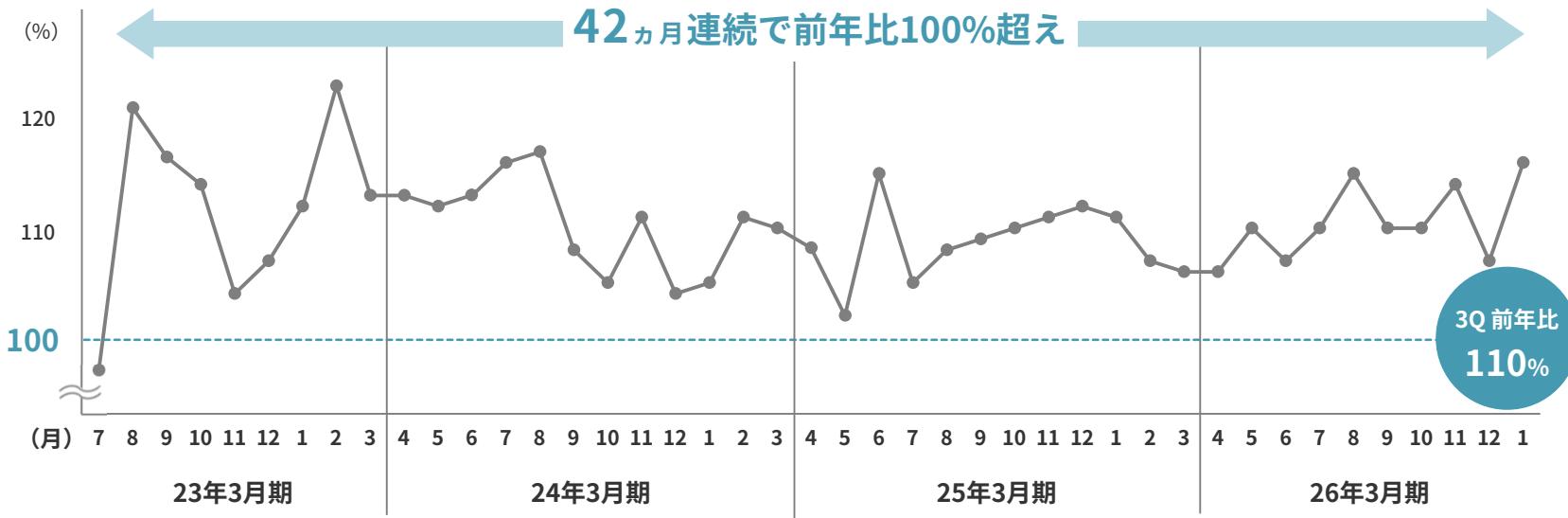
小売 営業利益の増減内訳

テナント・イベント収入の増加等により26億円の増益



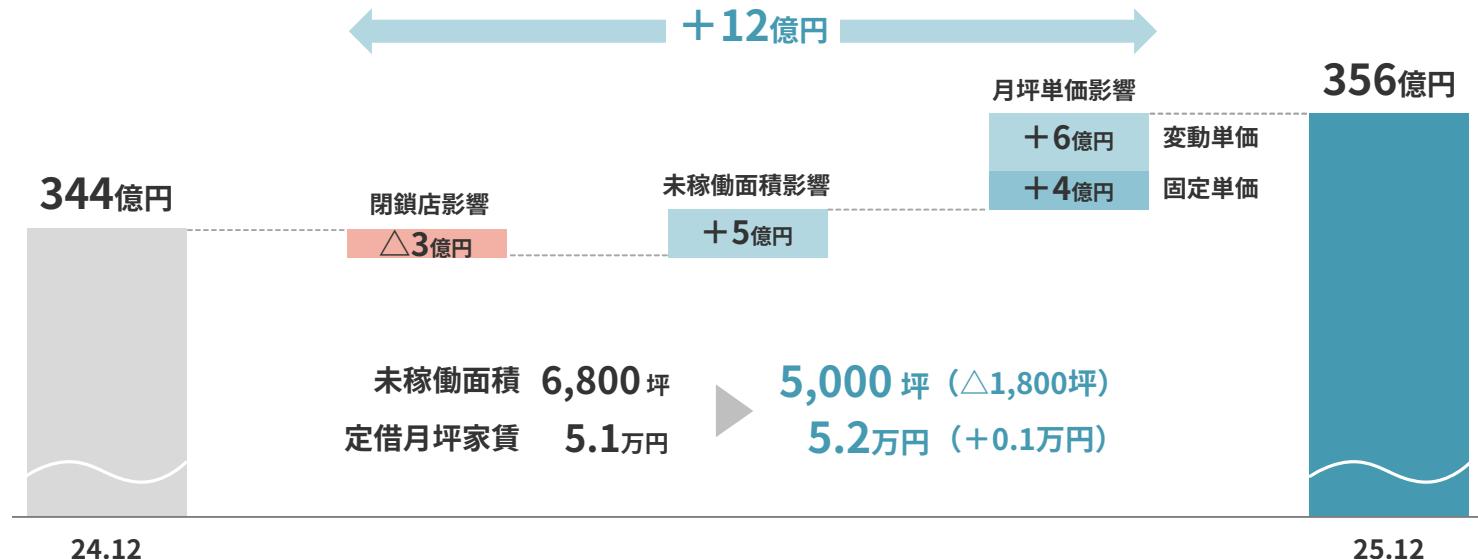
既存店取扱高は42カ月連続で前年実績を上回る

■既存店取扱高の月別前年比推移



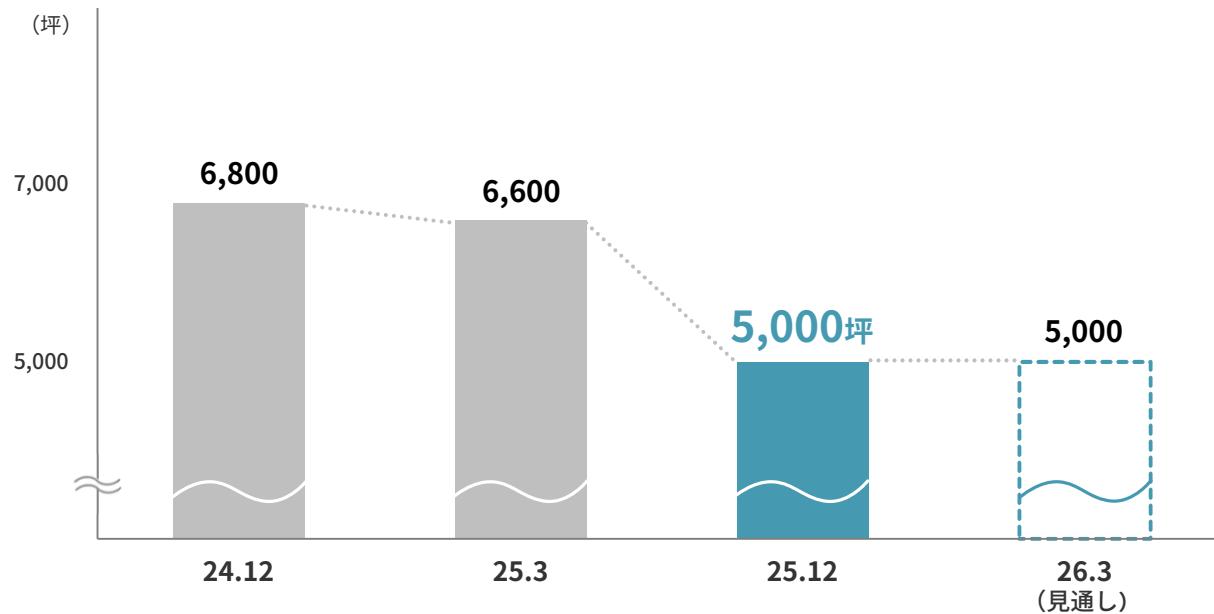
定借面積増加と月坪家賃の単価アップ等により、前年に対し12億円増加

■ テナント収入の増減内訳



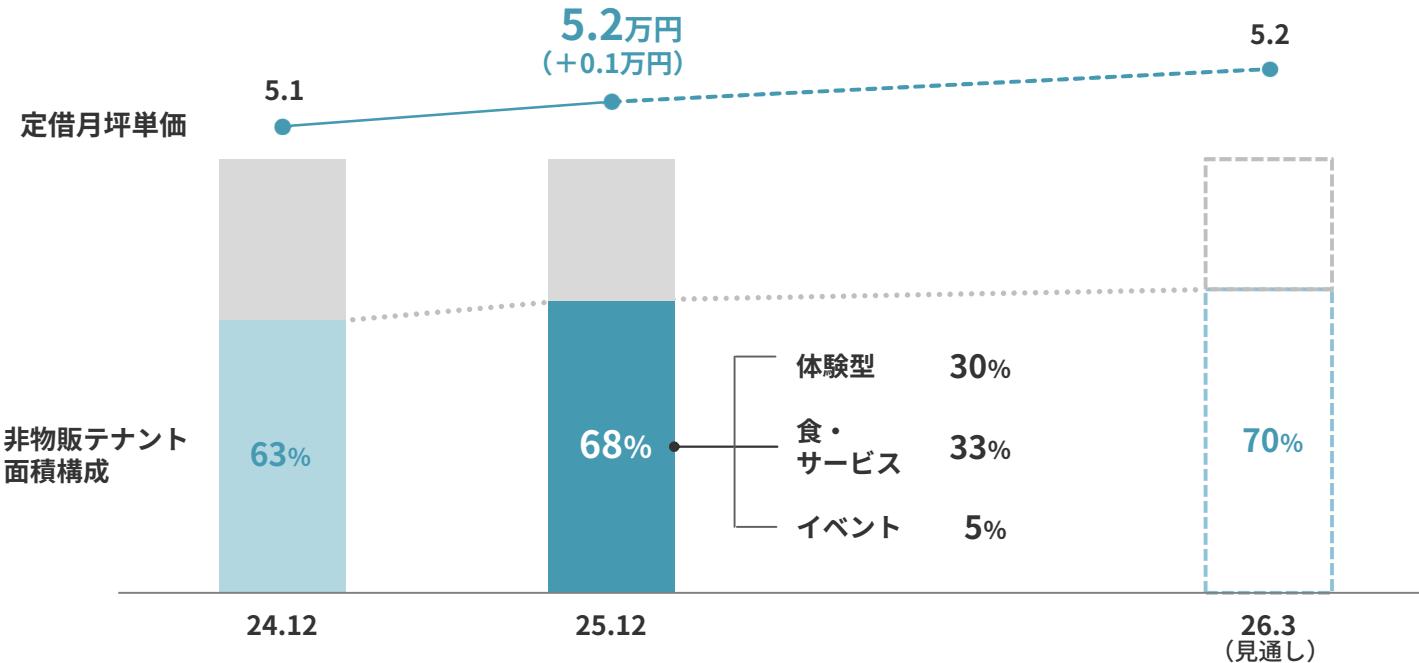
25年12月時点の未稼働面積は5,000坪まで減少

■ 未稼働運行面積の推移（運行平均）



25年12月時点の非物販テナントの面積構成比は68%に拡大（前年差+5%）

■ カテゴリー転換の推移



お客様に喜んでいただける、体験型・食・サービステナントの導入を進める



ONE PIECE BASE SHOP

(新宿マルイ本館)

- ・「ONE PIECE」の公式旗艦店
- ・Tシャツを作成できるラボもある体験型ショップ



TSUTAYA Trading Card 戸塚

(戸塚モディ)

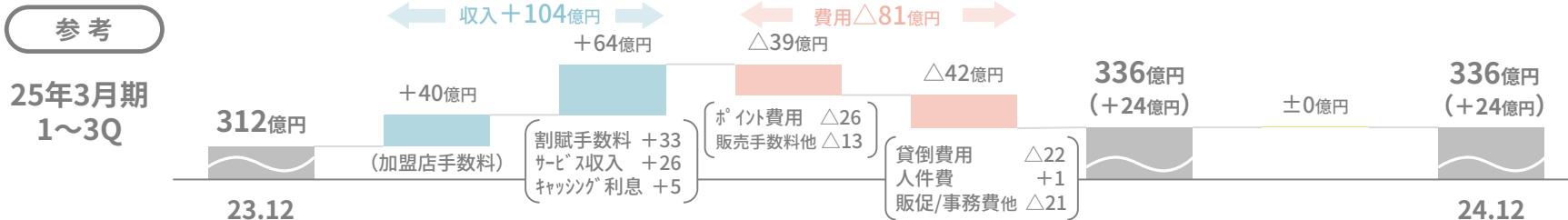
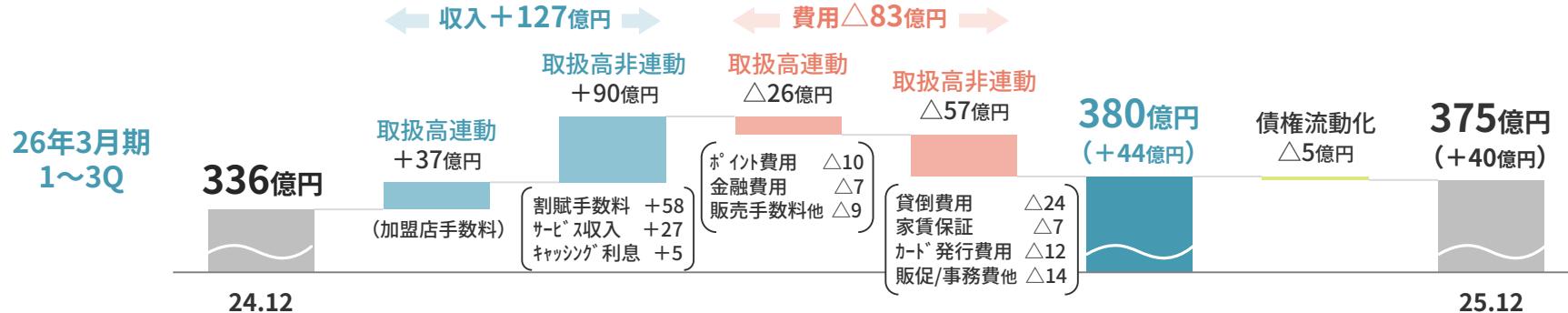
- ・誰でも無料で使用できる68席の対戦席
- ・公式大会や店舗独自のイベントを多数企画

26年3月期 第3四半期 決算概要および各事業の状況

- ・連結
- ・小売
- ・フィンテック
 - ・「好き」を応援するビジネス
 - ・バランスシート/資本配分
- ・ESG
- ・通期見通し

финテック 営業利益の増減内訳

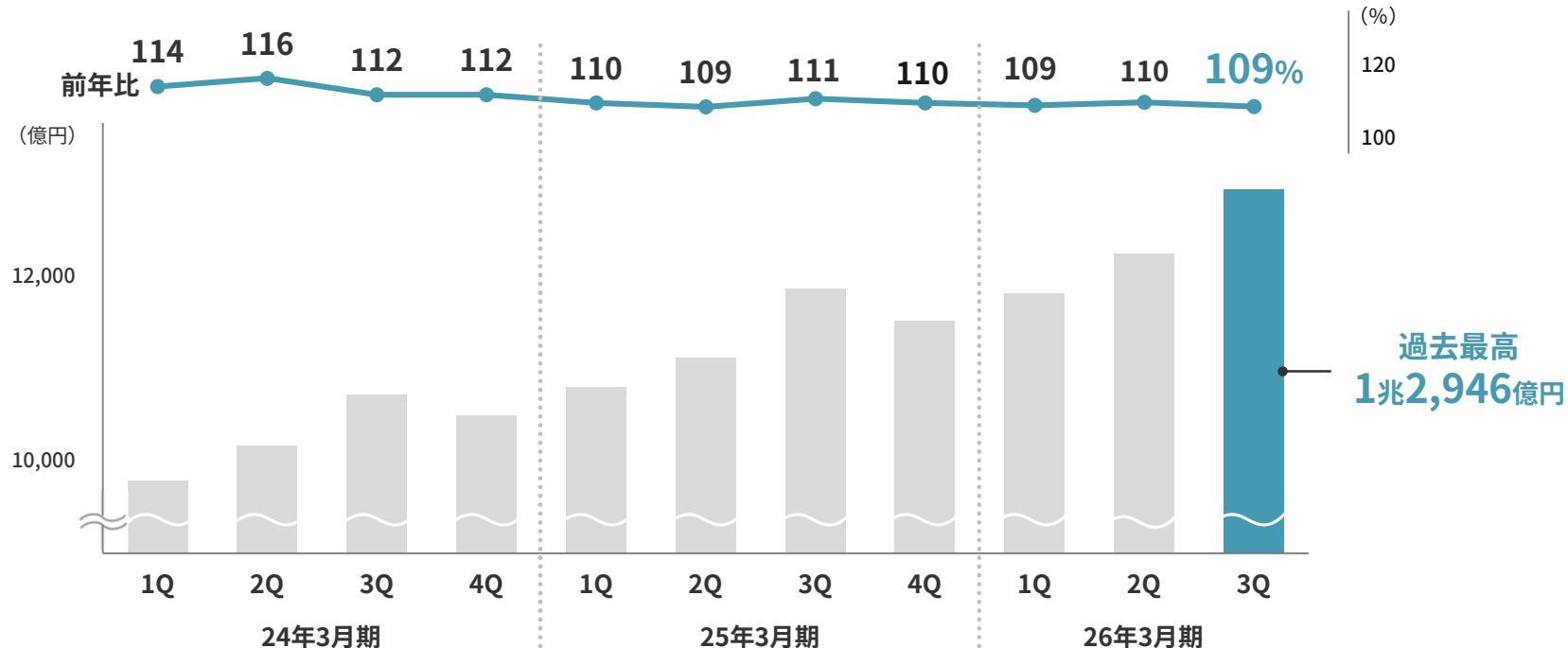
収入の増加に加え、ポイント費用の抑制等により実質営業利益は44億円の増益



カードクレジット取扱高

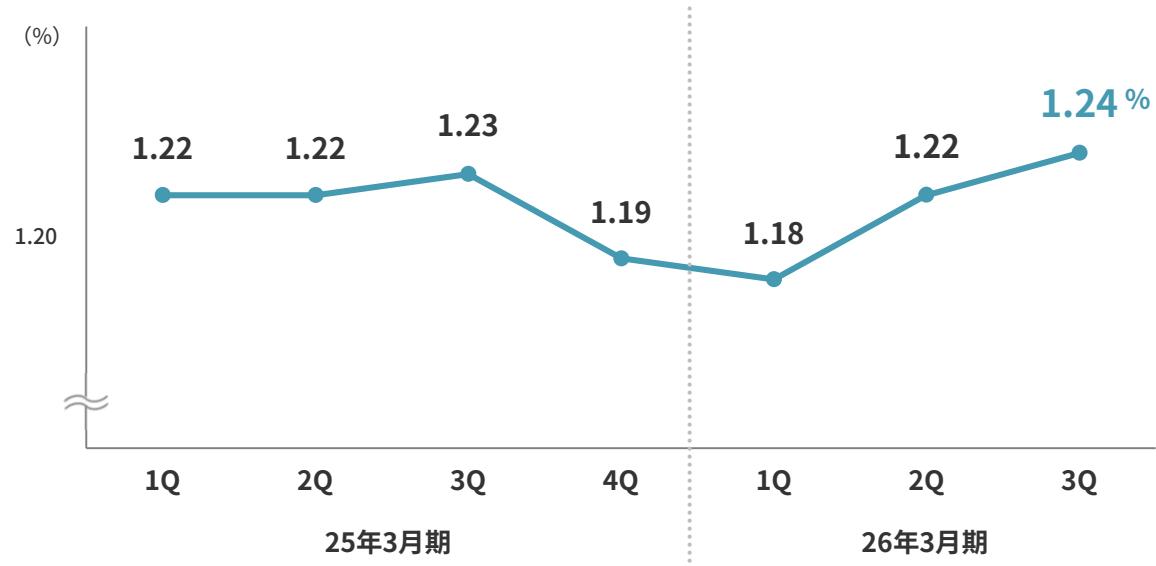
第3四半期の取扱高は過去最高の1兆2,946億円（前年比109%）

■ カードクレジット取扱高の推移



第3四半期の加盟店手数料率は外貨決済手数料率の見直し等により1.24%に上昇

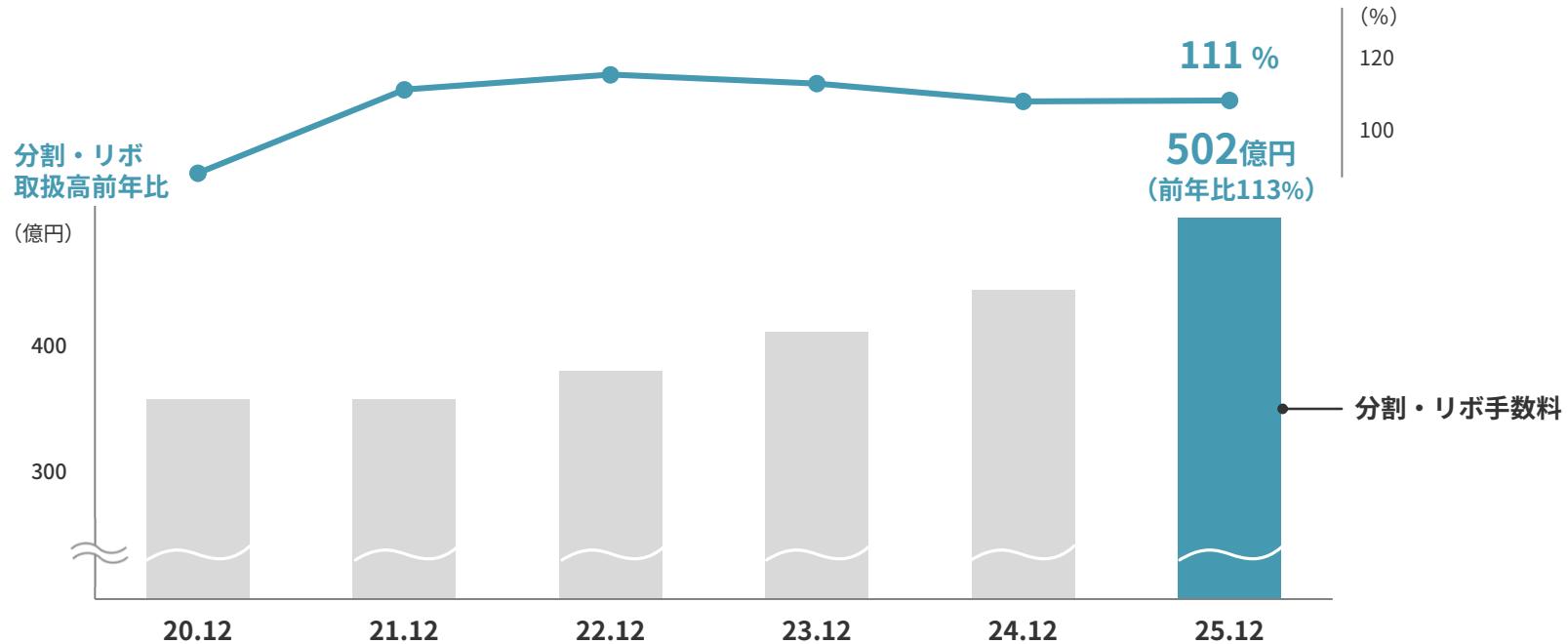
■ 加盟店手数料率の推移



* 加盟店手数料率：フィンテック取扱高に対する加盟店手数料収入の比率

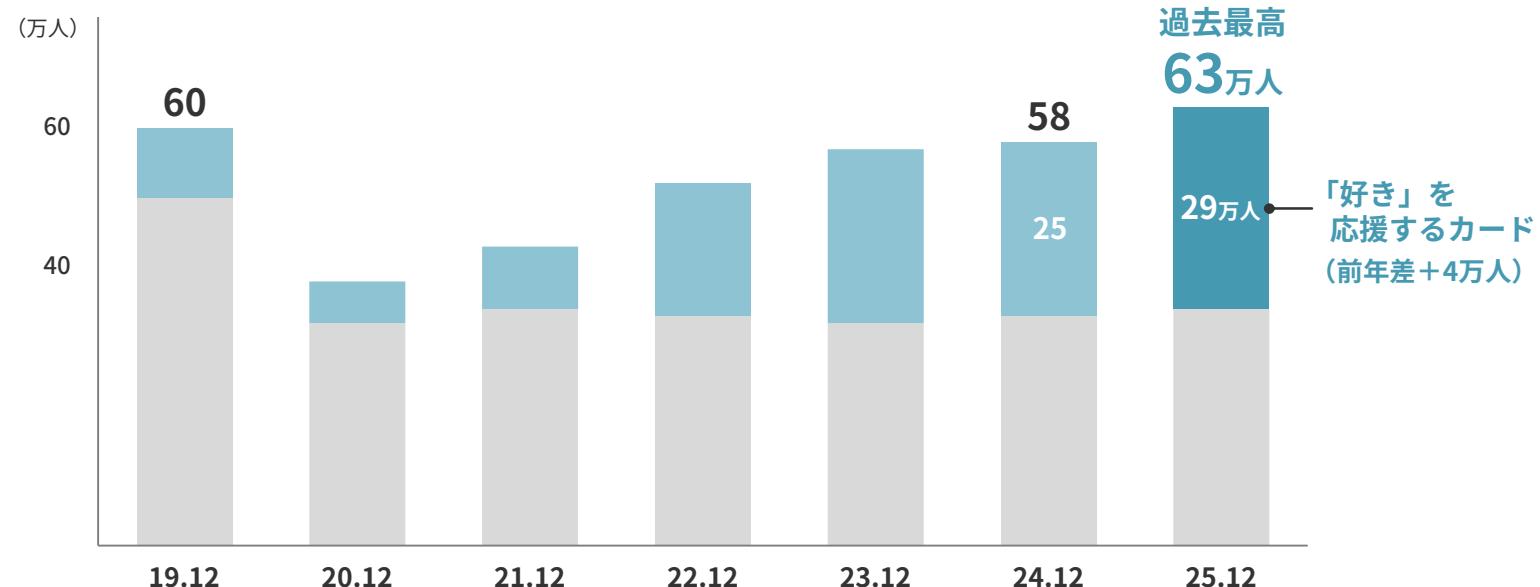
分割・リボ取扱高前年比は111%で推移し、手数料収入は13%増の502億円と順調に拡大

■ 分割・リボ手数料の推移



新規入会は「好き」を応援するカードの拡大により、過去最高の63万人

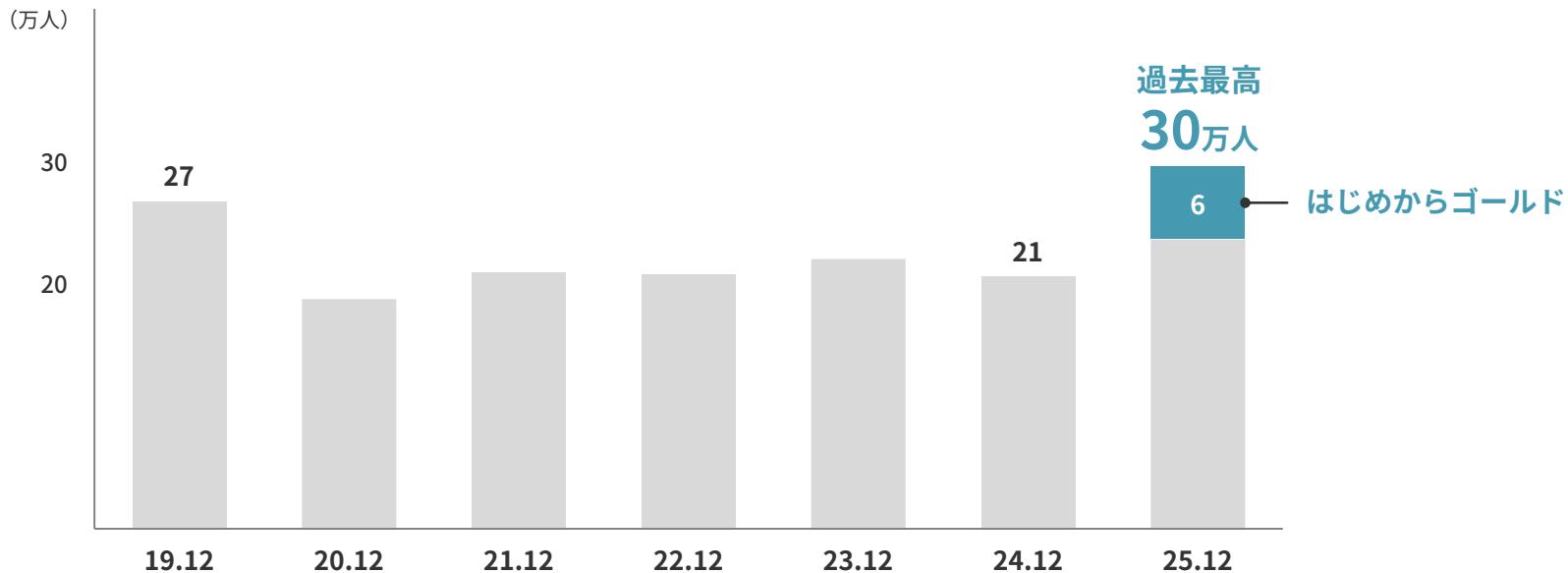
■ 新規入会の推移



ゴールドカード新規会員の状況

はじめからゴールド*等の取り組みにより、ゴールドカード新規会員は過去最高の30万人

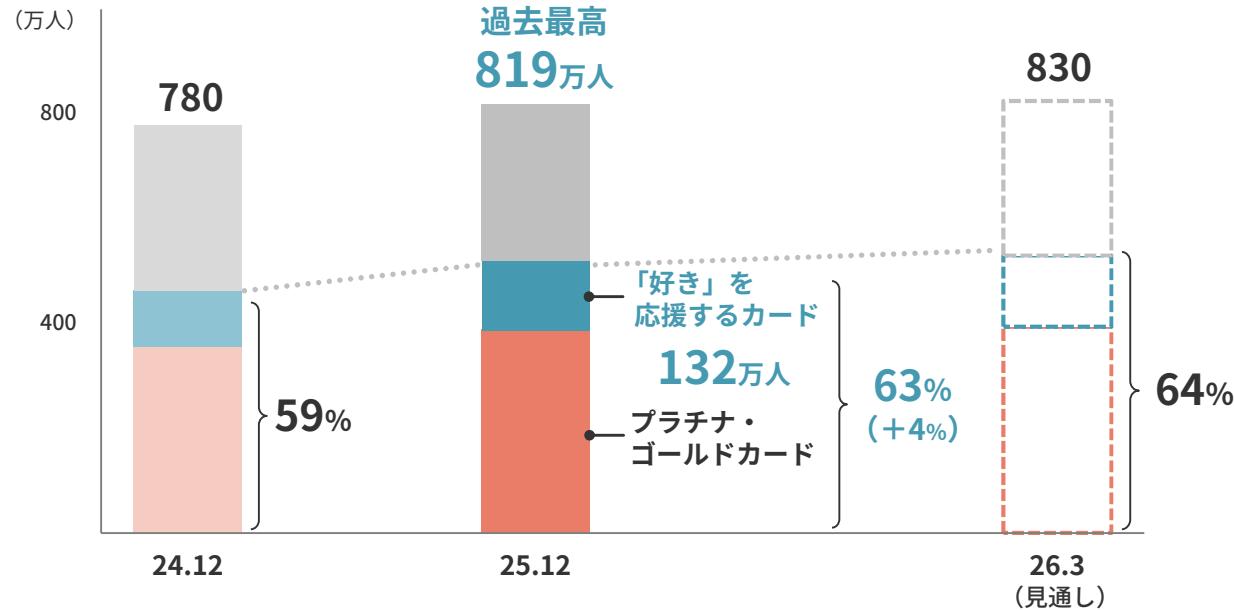
■ ゴールド新規会員の推移



* 家賃保証やデンタルローンなどをご利用のお客さまへ入会時からゴールドカードをご案内

カード会員数は前年から39万人増加し、過去最高の819万人

■ カード会員数の推移

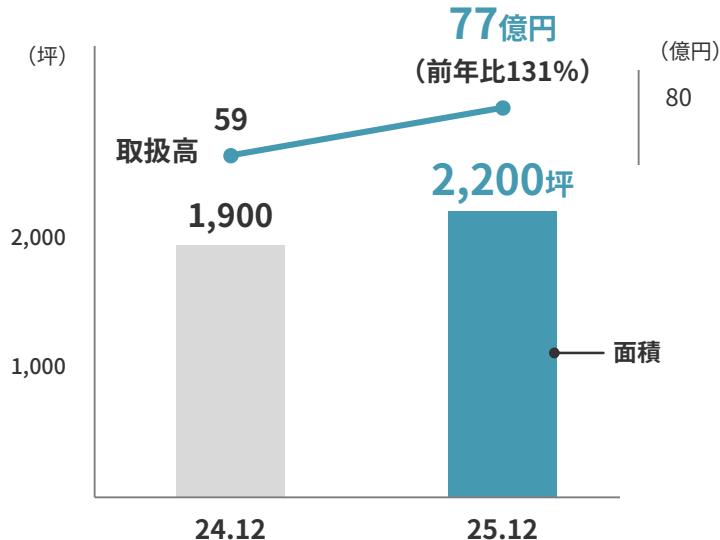


26年3月期 第3四半期 決算概要および各事業の状況

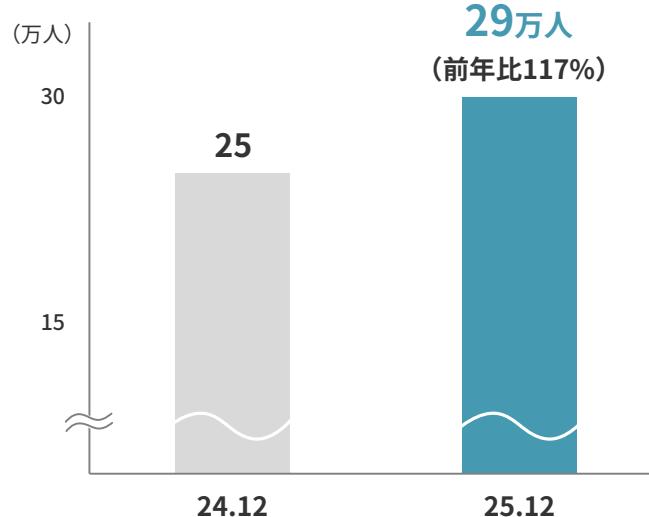
- ・連結
- ・小売
- ・フィンテック
- ・「好き」を応援するビジネス
- ・バランスシート/資本配分
- ・ESG
- ・通期見通し

「好き」を応援するイベント取扱高や「好き」を応援するカードの新規入会者数は順調に増加

■ 「好き」を応援するイベント面積・取扱高



■ 「好き」を応援するカード新規入会



「好き」を応援するイベント事例

人気コンテンツのポップアップショップを、全国の複数店舗で開催

TVアニメ「呪術廻戦」 (25年10月～26年1月)



POP UP SHOP アニメ『呪術廻戦』5周年記念
(渋谷モディ、神戸マルイ、博多マルイ)

「SUPER BEAVER」 (25年11月)



POP UP SHOP 結成20周年記念
(渋谷モディ)

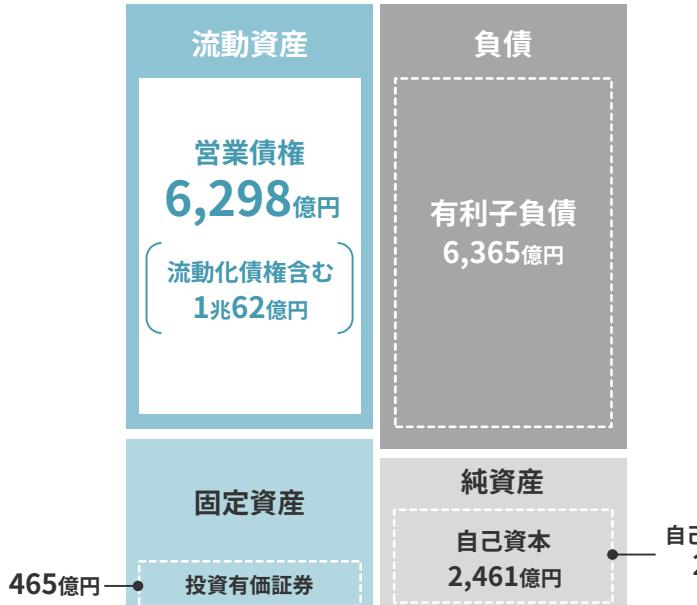
26年3月期 第3四半期 決算概要および各事業の状況

- ・連結
- ・小売
- ・フィンテック
- ・「好き」を応援するビジネス
- ・バランスシート/資本配分
- ・ESG
- ・通期見通し

バランスシートの状況

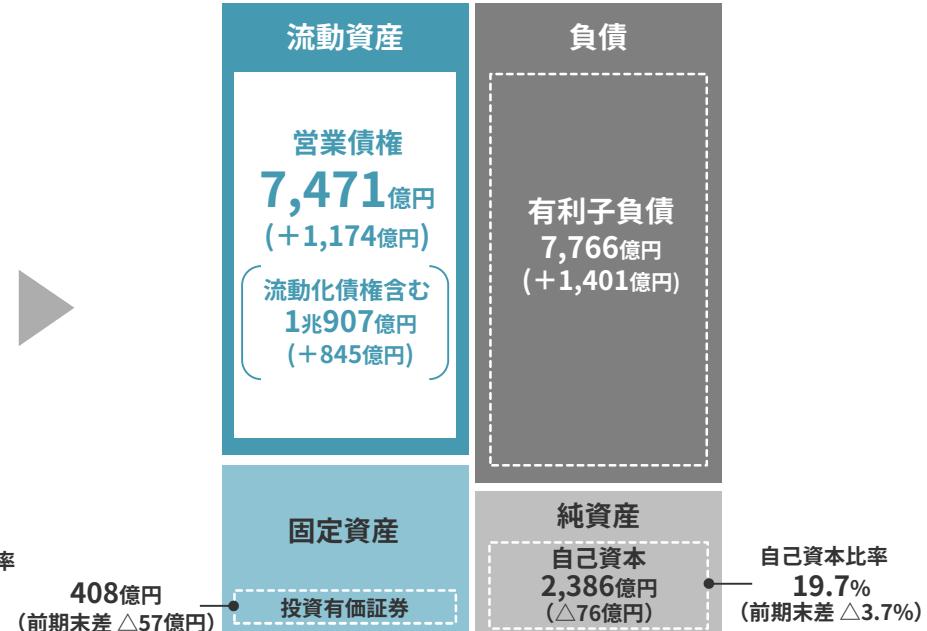
総資産は営業債権の増加等により、前期末に比べて1,569億円増加

総資産 1兆534億円



25.3

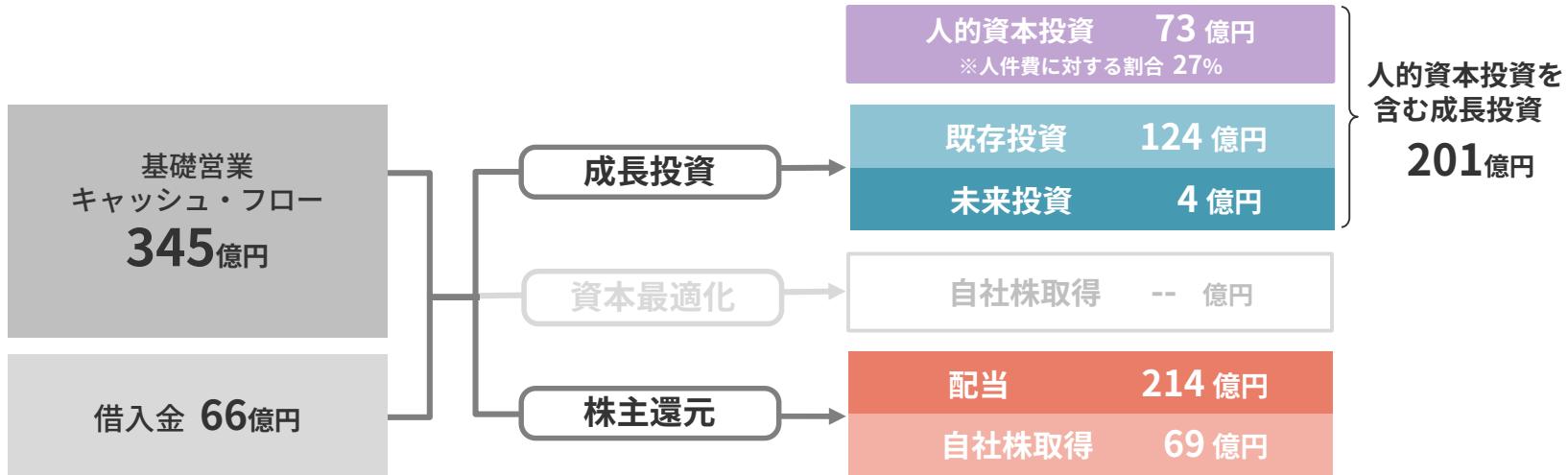
総資産 1兆2,102億円
(前期末差 +1,569億円)



25.12

成長投資に128億円、株主還元に283億円を配分。人的資本投資は73億円で人件費に対する割合は27%

■ 資本配分（26年3月期 第3四半期）



26年3月期 第3四半期 決算概要および各事業の状況

- ・連結
- ・小売
- ・フィンテック
 - ・「好き」を応援するビジネス
 - ・バランスシート/資本配分
- ・ESG
- ・通期見通し

25年12月に国際的な非営利団体CDPより、最高評価『気候変動Aリスト』企業に7度目の認定

■ 主な外部評価



NEW
7度目の認定
(25年12月)



NEW
5年連続
(25年12月)



NEW
9年連続
(25年11月)



9年連続
(25年7月)



FTSE JPX Blossom
Japan Index



FTSE JPX Blossom
Japan Sector
Relative Index

2025 CONSTITUENT MSCIジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数

2025 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)



MORNINSTAR GenDi J

Japan ex-REIT Gender Diversity
Tilt Index

TOP CONSTITUENT 2025

26年3月期 第3四半期 決算概要および各事業の状況

- ・連結
- ・小売
- ・フィンテック
- ・「好き」を応援するビジネス
- ・バランスシート/資本配分
- ・ESG
- ・通期見通し

26年3月期 通期見通し



EPS・ROE・ROICの3KPIは年初計画どおりの見通し

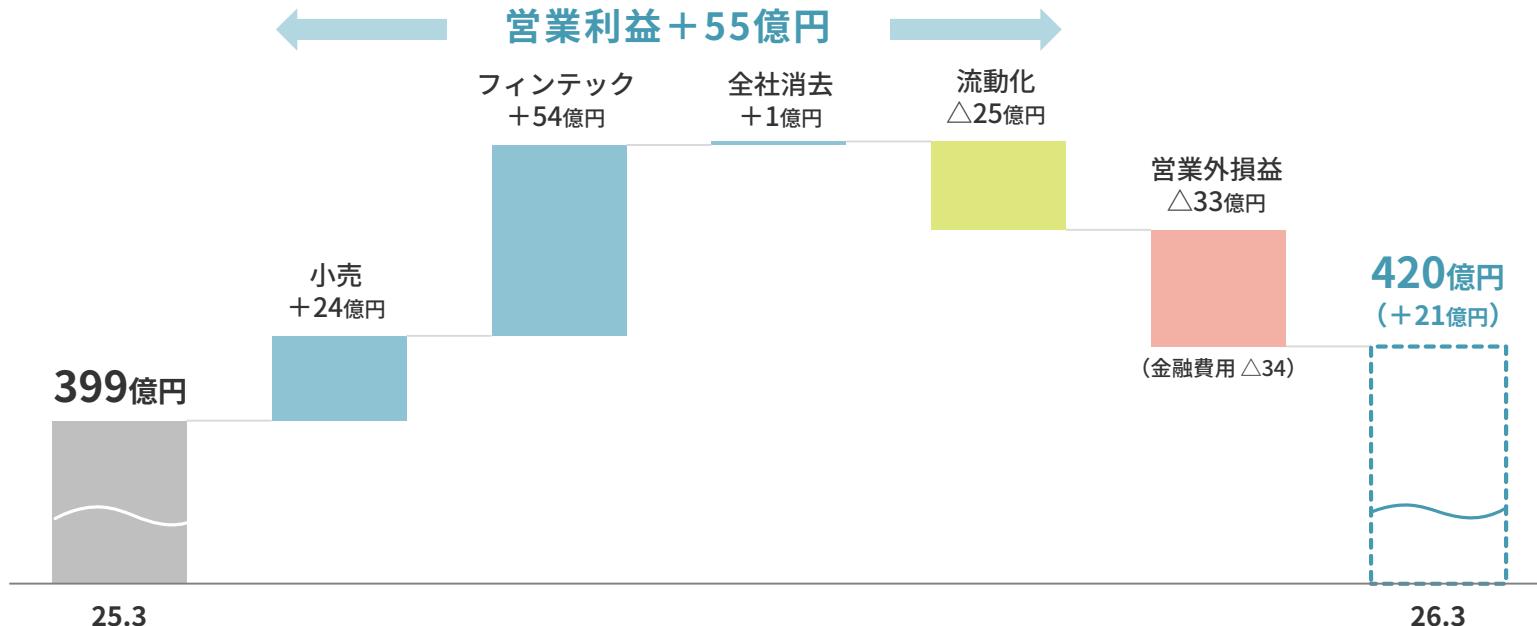
	25年3月期	26年3月期	前年比	前年差
EPS (円)	143.2	155.0	108	+11.8
ROE (%)	10.6	11.2	—	+0.6
ROIC (%)	3.8	3.9	—	+0.1
CO2削減量	39万t	50万t	128	+11万t

<参考>

	兆 億円	兆 億円	%	億円
グループ総取扱高	4 9,269	5 3,900	109	+4,631
売上収益	2,544	2,725	107	+181
売上総利益	2,228	2,400	108	+172
販管費	1,782	1,900	107	+118
営業利益	445	500	112	+55
経常利益	399	420	105	+21
当期利益	266	280	105	+14

26年3月期 経常利益の見通し

26年3月期の経常利益は5%増の420億円を見込む



26年3月期 セグメント別営業利益見通し

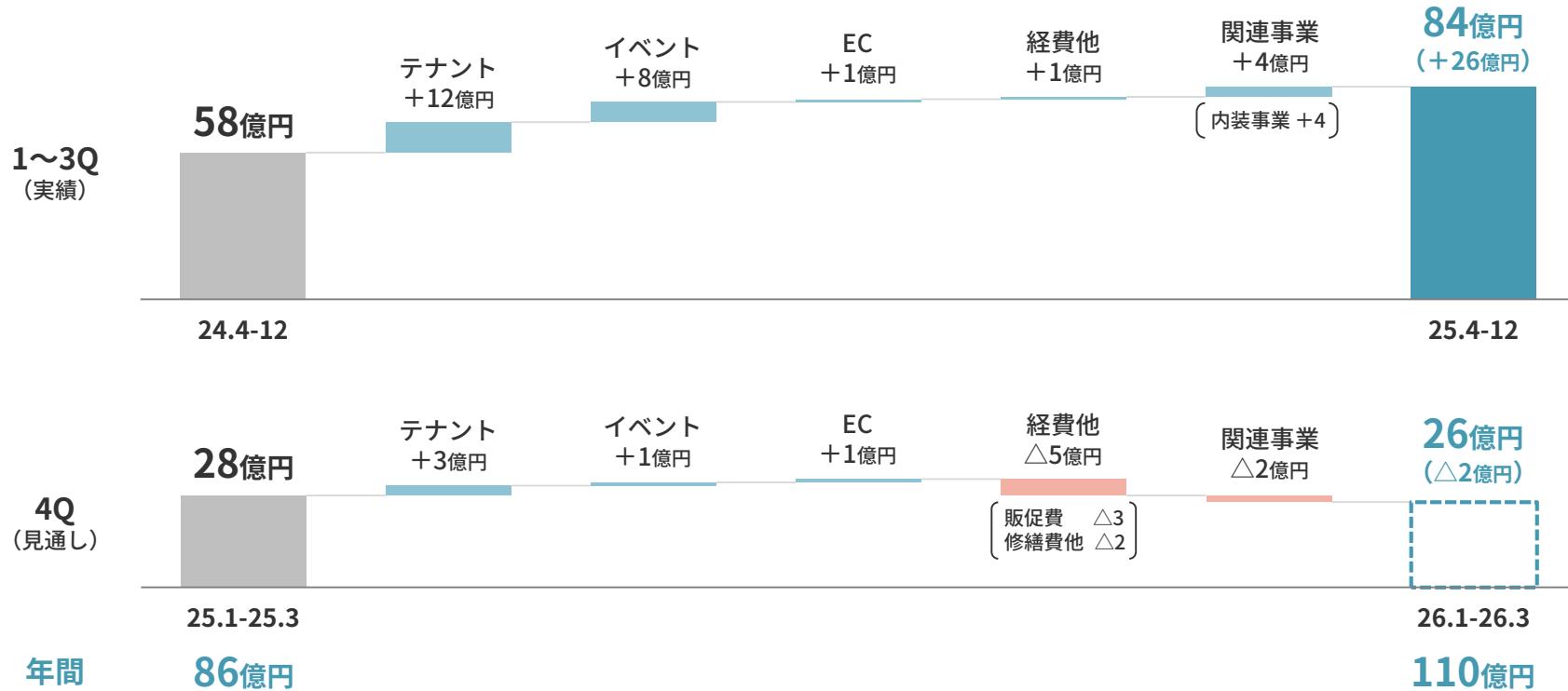


小売は28%増の110億円、フィンテックは7%増の470億円を見込む

	25年3月期	26年3月期	前年比	前年差
	億円	億円	%	億円
小売	86	110	128	+24
フィンテック	441	470	107	+29
全社・消去	△81	△80	—	+1
連結営業利益	445	500	112	+55

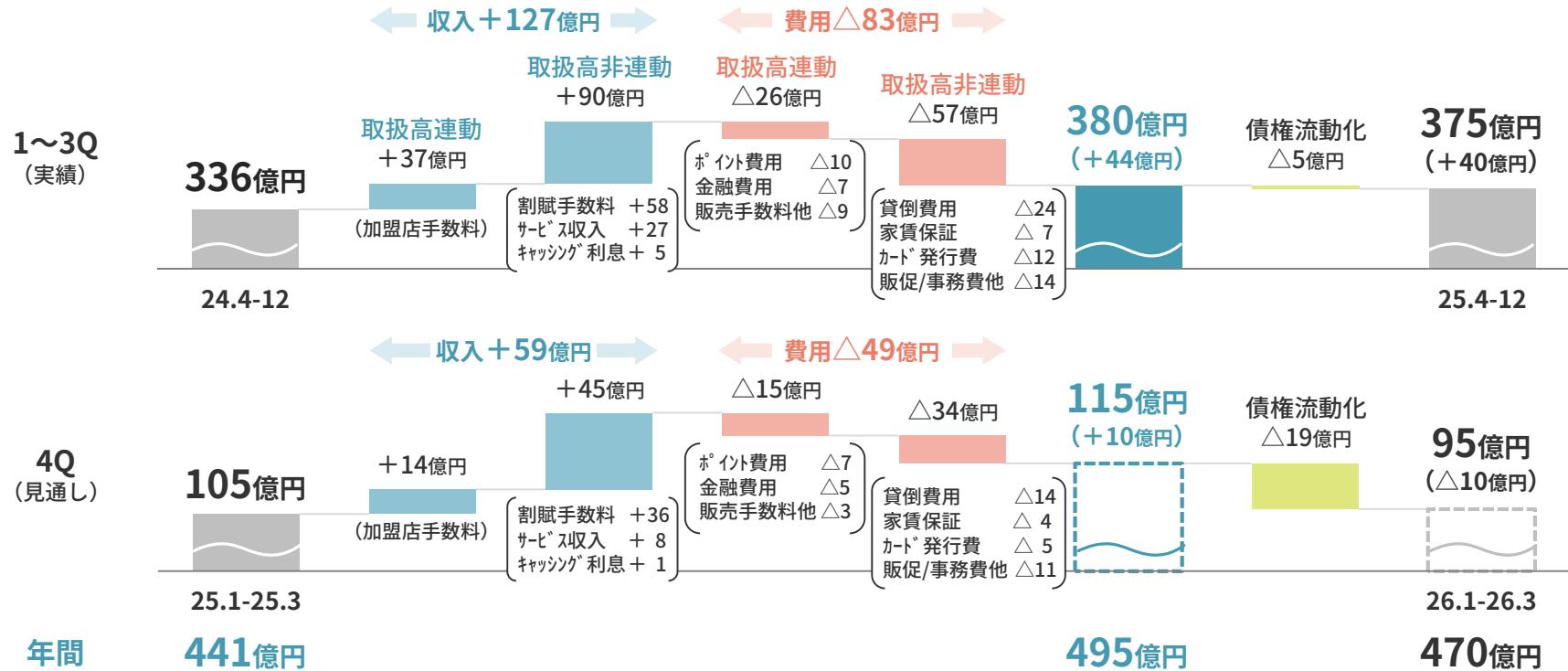
小売 営業利益の見通し

第4四半期は戦略的な経費執行等で2億円減益も、年間は年初計画通りの110億円を見込む



финтэк 営業利益の見通し

分割・リボ手数料率変更影響と債権流動化のマイナス影響を踏まえ、第4四半期は10億円減益の見通し





「好き」が駆動する経済へ

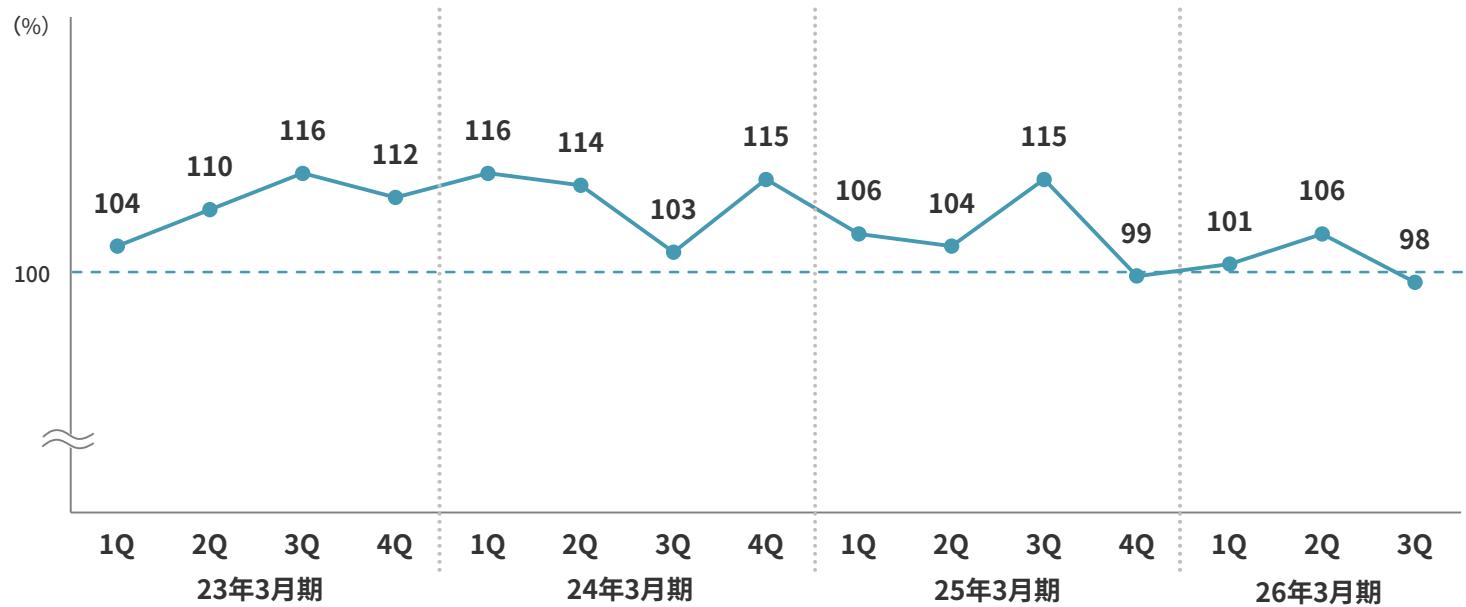
本資料に掲載しております将来の予測に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
お問い合わせは、I R部 marui-ir@0101.co.jpにご連絡ください。

Appendix

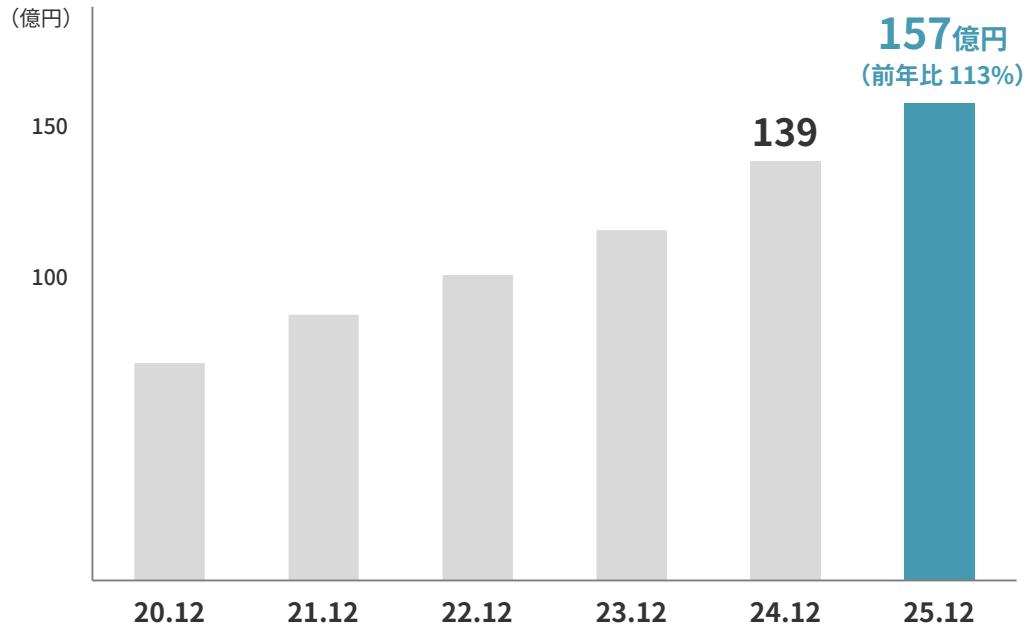


EC取扱高の推移

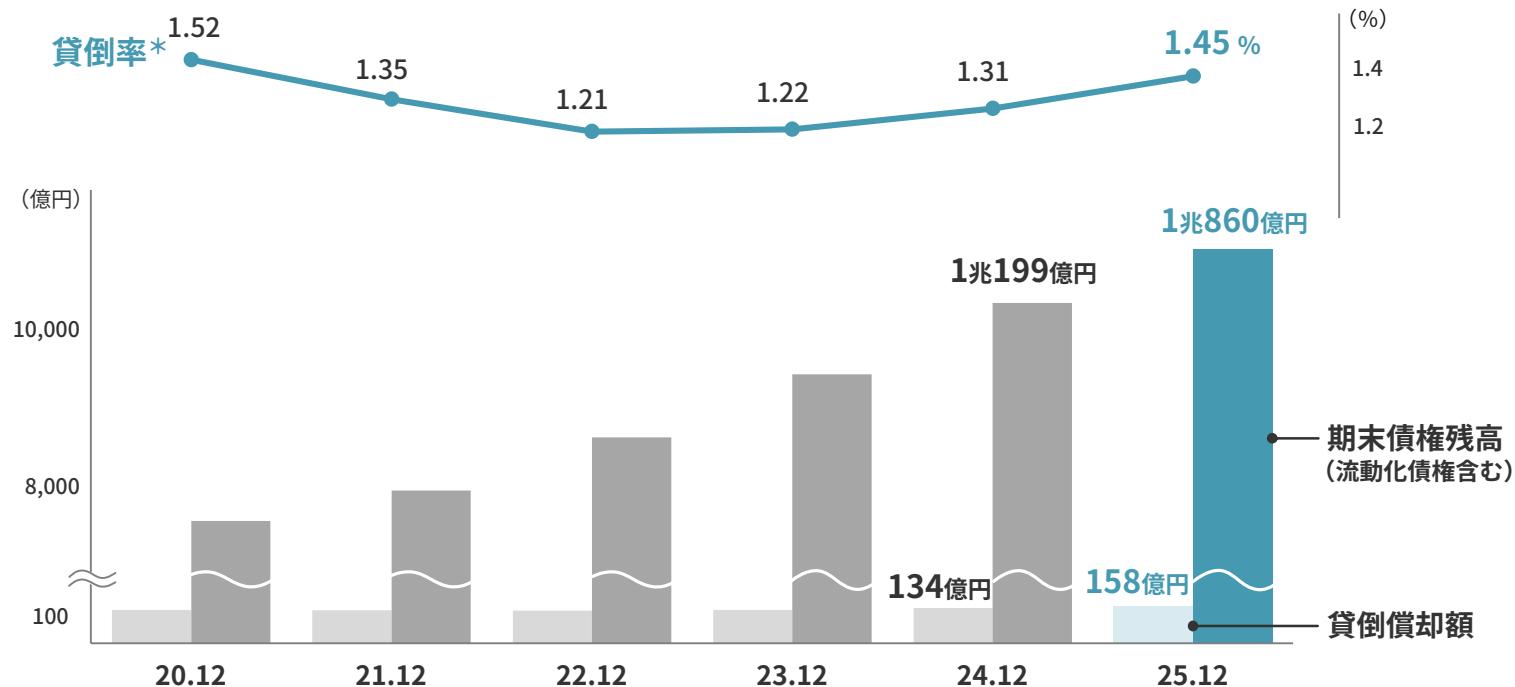
■ EC取扱高 前年比



■ 売上収益の推移



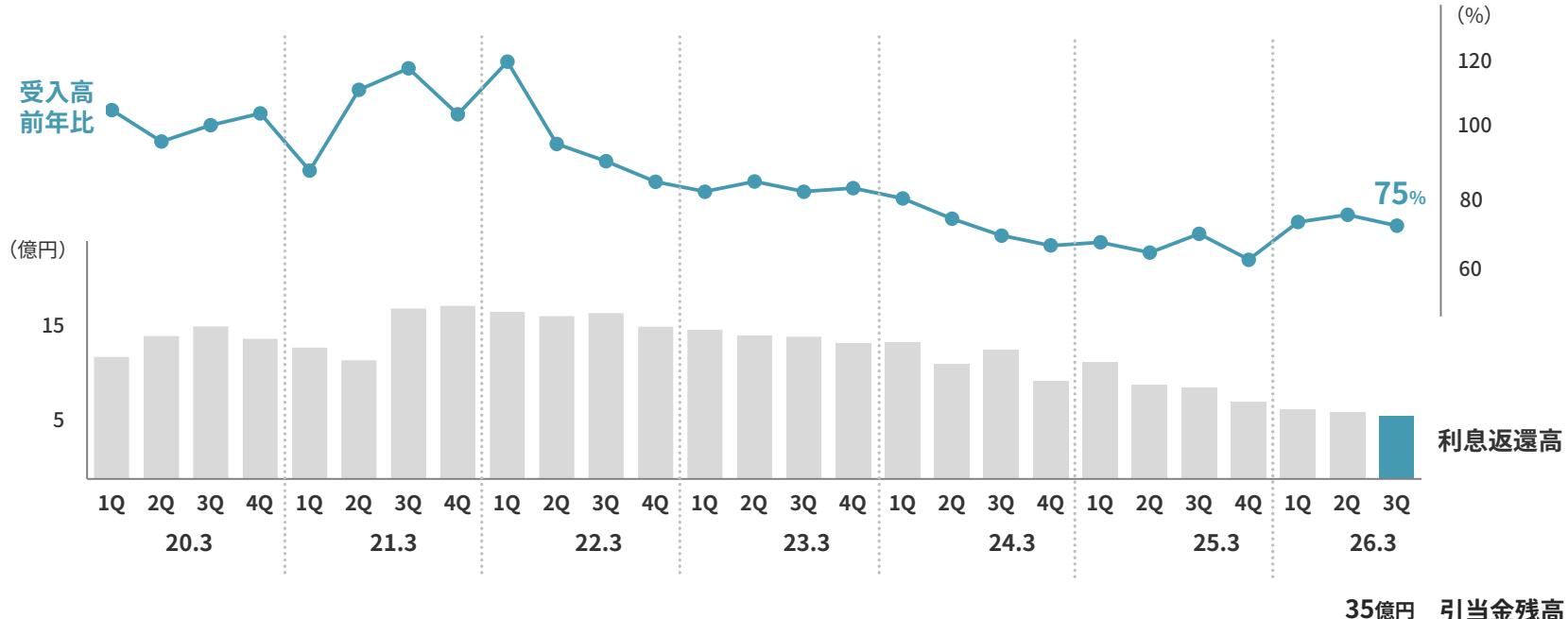
■ 貸倒率の推移



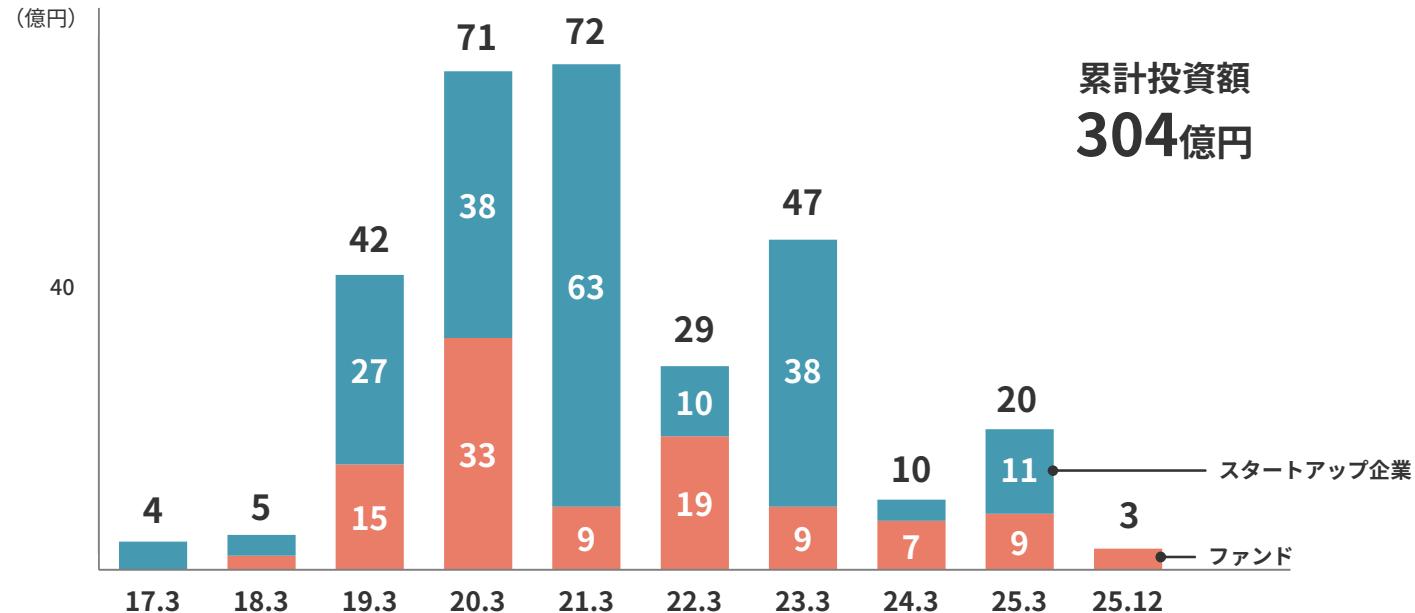
*貸倒率 = 当期貸倒償却額 ÷ 期末債権残高

利息返還の状況

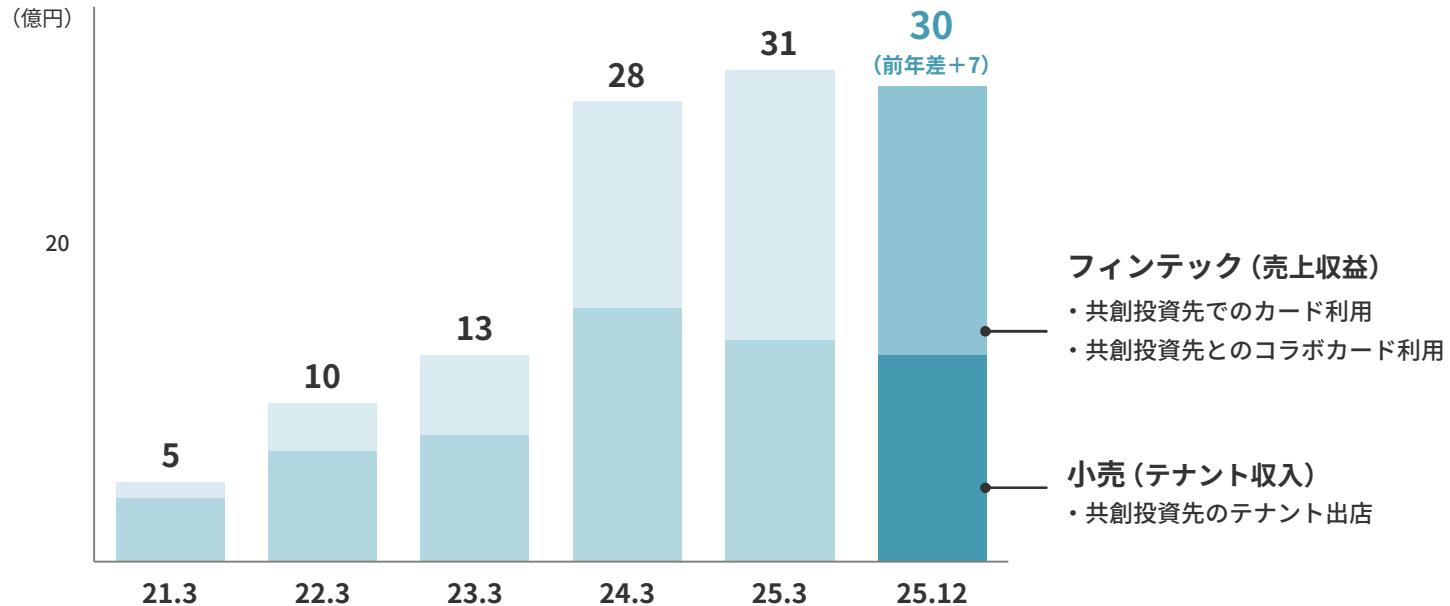
■ 受入高前年比と利息返還高の推移



■ 共創投資の推移



■ 貢献利益額



*貢献利益は小売、フィンテックの営業利益に含む

債権流動化・分割リボ手数料率変更影響の見通し

■ 26年3月期 第2四半期決算時点

	1Q (実績)	2Q (実績)	3Q (見通し)	4Q (見通し)	26年3月期 (見通し)
流動化損益	25	5	△ 28	△ 27	△ 25
譲渡益	49	33	0	0	82
償却等	△ 24	△ 28	△ 28	△ 27	△ 107
手数料率変更	-	-	20	20	40
利益影響額計	25	5	△ 8	△ 7	15
前年差	+26	△ 6	△ 5	0	+15

■ 現状の見通し

	1Q (実績)	2Q (実績)	3Q (実績)	4Q (見通し)	26年3月期 (見通し)	2Q時点との差
流動化損益	25	5	△ 28	△ 27	△ 25	±0
譲渡益	49	33	0	0	82	±0
償却等	△ 24	△ 28	△ 28	△ 27	△ 107	±0
手数料率変更	-	-	24	24	48	+8
利益影響額計	25	5	△ 4	△ 3	23	+8
前年差	+26	△ 6	△ 1	+4	+23	+8

- 株価指数に関する免責事項 -

- FTSE Russell (the trading name of FTSE International Limited and Frank Russell Company) confirms that MARUI GROUP CO., LTD. Has been independently assessed according to the FTSE4Good criteria, and has satisfied the requirements to become a constituent of the FTSE4Good Index Series. Created by the global index provider FTSE Russell, the FTSE4Good Index Series is designed to measure the performance of companies demonstrating strong Environmental, Social and Governance (ESG) practices. The FTSE4Good indices are used by a wide variety of market participants to create and assess responsible investment funds and other products.
- FTSE Russell confirms that MARUI GROUP CO., LTD. has been independently assessed according to the index criteria, and has satisfied the requirements to become a constituent of the FTSE JPX Blossom Japan Index. Created by the global index and data provider FTSE Russell, the FTSE JPX Blossom Japan Index is designed to measure the performance of companies demonstrating specific Environmental, Social and Governance (ESG) practices. The FTSE JPX Blossom Japan Index is used by a wide variety of market participants to create and assess responsible investment funds and other products.
- FTSE Russell confirms that MARUI GROUP CO., LTD. has been independently assessed according to the index criteria, and has satisfied the requirements to become a constituent of the FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index. The FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index is used by a wide variety of market participants to create and assess responsible investment funds and other products.
- THE INCLUSION OF MARUI GROUP CO., LTD. IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICEMARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF MARUI GROUP CO., LTD. BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES. THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI. MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.

END

